

株式会社ディプロ

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



認証番号0009933

作成日： 2024年10月31日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
許可の内容	6
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14
これまでの環境活動の紹介	14

□ごあいさつ

株式会社ディプロは、産業廃棄物の収集運搬を始め、油剤等の再使用化をテーマに、これまで蓄積したノウハウを基に、提案を行っております。限りある資源を貴重なものと考え、ディプロの独自の方法で資源の再使用するための加工を行うことが「循環型社会」の形成に寄与するものと考えます。

環境経営方針

<環境経営理念>

本業である産業廃棄物収集運搬業を通じて、「循環型社会」の形成に向け油剤等の再資源化を推進し、環境負荷の低減を図るため、従業員一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでまいります。そして、カーボンニュートラル、SDGsの実現に貢献してまいります。



<環境保全への行動指針>

1. 環境法規制等を順守し、従業員一同環境保全に努めます。
2. 産業廃棄物収集運搬業務を行うにあたり、燃料使用量の削減、CO2排出量の削減に努力し、省エネルギーを推進します。さらに、廃棄物の再資源化の推進、節水および環境汚染の予防・継続的な改善を推進します。
3. 環境方針、環境目標を定め、環境活動計画を策定し、継続的な進行を図ります。また、環境目標は、定期的に見直しを行います。
4. 環境に配慮した事務備品等のグリーン購入を積極的に推進します。
5. リサイクル技術の継承を図るため、人材確保、育成に努めます。
6. 事務所周辺や地域の清掃活動に積極的に参加します。
7. この環境方針は、一般に公開し、理解・普及に努めます。

制定日：2013年6月1日

改定日：2022年6月1日

代表取締役 乾 勝晴

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ディプロ
代表取締役社長 乾 勝晴
- (2) 所在地
本社 大阪府大東市新田中町1番33号
工場 (同上)
駐車場及び倉庫 大阪府大東市新田中町3番34号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
総務部 濱出 和男 TEL: 072-806-1266
- (4) 事業内容
産業廃棄物収集運搬及び配管洗浄並びに再生油の販売
- (5) 事業の規模
法人設立 1997年1月14日
資本金 1,000万円
売上高 19,104万円

	本社・工場	駐車場及び倉庫		
従業員	6名	無人		
延べ床面積	2400㎡	600㎡		

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	2,524 t		
中間処理量	t	うち再資源化量	t
最終処分量	t		
中間処理後の産物の処分量	t	うち再資源化量	t

車種	台数	備考
10tバキューム車	3台	ドライブレコーダー、デジタコ搭載
4tバキューム車	3台	〃
4tコンテナ車	1台	〃
高圧洗浄車	1台	〃
2tトラック	1台	〃
軽トラック	2台	〃
営業車	1台	ハイブリッド車、ドライブレコーダー搭載
	台	
合計	12台	

主要設備

名称	台数	備考
		基
		基
		基

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限	備考
なし	㎡	m	
	㎡	m	
	㎡	m	

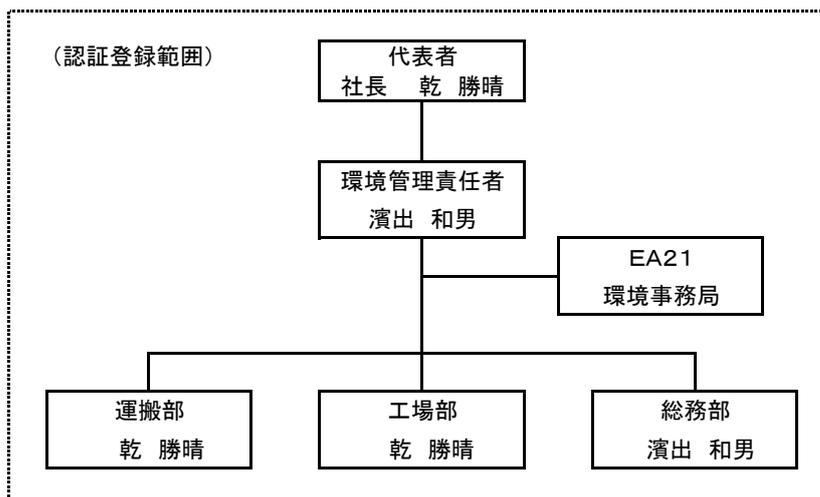
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社ディプロ
対象事業所: 本社・工場、駐車場兼倉庫

□事業の紹介

対象外: なし
活動: 産業廃棄物収集運搬及び配管洗浄並びに再生油の販売

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替 保管	優良 認定	廃棄物の種類											
						汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラスくず	ゴムくず	がれき類	石綿含有廃棄物	
大阪府	第2700047225号	令和5年4月21日	令和13年4月20日	無	優	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
兵庫県	第2803047225号	令和6年8月4日	令和13年8月3日	無	優	●	●			●	●	●	●		●	●	
京都府	第2600047225号	令和6年10月2日	令和13年8月4日	無	優	●	●			●	●	●	●	●	●		
滋賀県	第2501047225号	平成30年4月22日	令和7年4月21日	無	優	●	●	●	●	●	●	●					
奈良県	第2900047225号	令和6年4月11日	令和13年4月10日	無	優	●	●			●		●	●				
和歌山県	第3000047225号	平成30年10月19日	令和7年10月13日	無	優	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
千葉県	第1200047225号	令和4年10月7日	令和11年9月15日	無	優	●	●			●		●	●				
神奈川県	第1400047225号	令和1年9月2日	令和8年6月30日	無	優	●	●			●	●	●	●				
長野県	第2009047225号	平成31年3月15日	令和8年3月14日	無	優	●	●										
愛知県	第2300047225号	平成30年8月10日	令和7年7月18日	無	優	●	●			●	●	●	●				
三重県	第2400047225号	令和2年10月22日	令和9年7月19日	無	優	●	●			●		●	●				
福井県	第1808047225号	平成27年7月9日	令和11年6月9日	無	優	●	●										
岡山県	第3300047225号	令和5年5月31日	令和12年4月27日	無	優	●	●										
鳥取県	第3103047225号	令和6年6月14日	令和13年6月13日	無	優	●	●			●		●	●				
広島県	第3400047225号	令和2年4月17日	令和9年4月16日	無	優	●	●			●	●	●	●				
山口県	第3500047225号	令和4年7月14日	令和11年7月4日	無	優	●	●	●	●	●	●						
徳島県	第3600047225号	令和1年6月12日	令和8年5月5日	無	優	●	●										
香川県	第3709047225号	平成28年12月26日	令和12年12月25日	無	優	●	●										
愛媛県	第3803047225号	平成28年10月28日	令和12年10月23日	無	優	●	●			●		●	●				

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	128,427	126,957	123,034
受託収集運搬量	トン	2,715	3,213	2,524
受託中間処理量	トン	—	—	—
受託最終処分量	トン	—	—	—
廃棄物排出量	kg	1,936	2,052	1,787
一般廃棄物排出量	kg	1,860	2,010	1,726
産業廃棄物排出量	kg	76	42	61
水使用量	m ³	608	600	544

CO2排出係数: 関西電力2019年度実績値(調整後) 0.318kg-CO2/kWh

□環境経営目標及びその実績

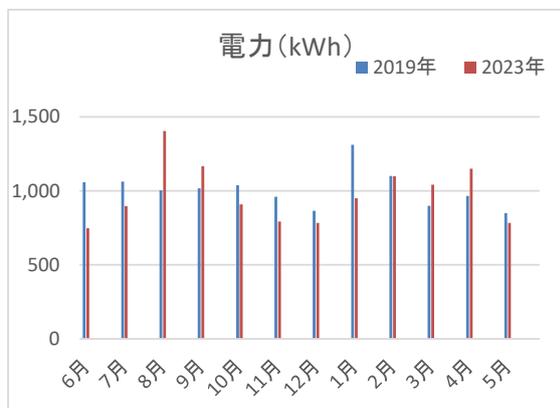
項目	年度	基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			上段	通期			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,856	3,779	3,729	○	3,740	3,702
	基準年度比	2019年	98%	97%		97%	96%
プロパンガスによる二酸化炭素削減	kg-CO2	122	121	47	○	119	118
	基準年度比	2020年	99%	39%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	145,896	137,142	119,258	○	135,683	134,224
	基準年度比	2017年	94%	82%		93%	92%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	149,874	141,042	123,034		139,543	138,044
一般廃棄物の削減(焼却ゴミ)	kg	2,025	1,904	1,670	○	1,883	1,863
	基準年度比	2017年	94%	82%		93%	92%
産業廃棄物の削減(有価物)	kg	63	59	61	×	58	58
	基準年度比	2017年	94%	97%		93%	92%
水道水の削減	m ³	800	752	544	○	744	736
	基準年度比	2017年	94%	68%		93%	92%
グリーン購入の推進(オフィス用品G購入率)	% (金額率)	—	54%	66%	○	56%	58%
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による) ・作業開始前の車両点検 ・エコドライブの推進 ・車両の清掃						
課題を解決しチャンスを活かす取組	取組み事項 ・事業拡大のための人材確保 ・顧客の獲得 ・技術の継承 ・PRによる顧客獲得						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	2月に引き続き3月・4月も使用量が基準値を超えてしまいましたが、目標をクリアできました。
・ 不必要な照明の消灯	○	
・ 使用していない部屋の空調を停止	○	
・ 空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	○	



取組紹介欄

在席者が不在となった時には、事務所のその区画の照明を消しています。

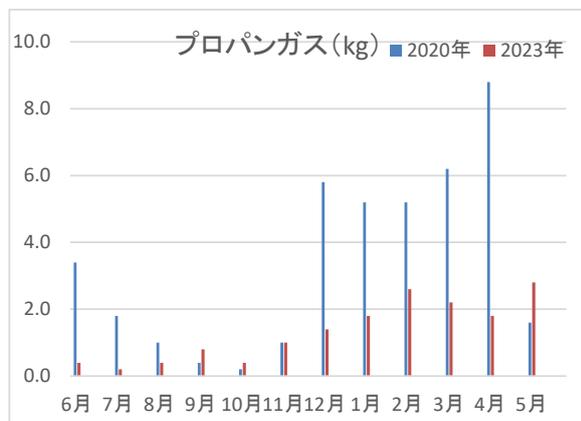
空調温度の適正化を促進するため、リモコンに設定シールを貼っています。



(kWh)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2019年	1,058	1,062	1,004	1,016	1,037	959	865	1,311	1,101	899	965	849
2023年	747	897	1,404	1,167	909	793	783	951	1,099	1,042	1,149	784

プロパンガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標値から大きく抑えることができましたが、気が緩みことなく来年度も今年度同様の結果が出せるように注視してまいります。
・ 洗濯物は纏めて洗う	○	
・ 洗濯時、汚れに応じた湯沸器の使用	○	
・ 給湯器使用后、元栓を閉める	○	
・		



取組紹介欄

油成分の汚れのため、給湯器を使用するにあたり、洗濯を週2回に決めています。

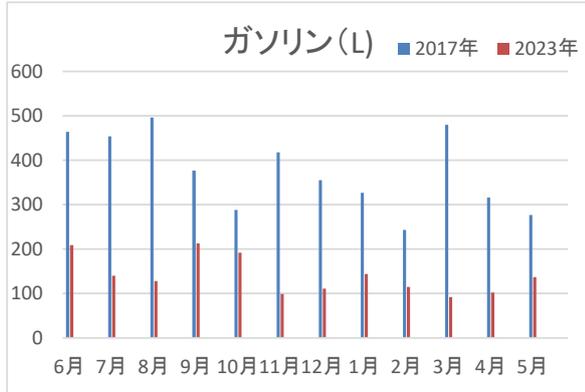
油成分以外の洗濯ものは、常温水にて行っています。



(kg)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2020年	3.4	1.8	1.0	0.4	0.2	1.0	5.8	5.2	5.2	6.2	8.8	1.6
2023年	0.4	0.2	0.4	0.8	0.4	1.0	1.4	1.8	2.6	2.2	1.8	2.8

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度に対する目標値94%に対して、82%と大きく削減することができました。翌年度も同様に推移できるように啓発してまいります。◆走行燃費の評価【ガソリン車(運搬)】基準値14.3km/h→今年度15.1km/h 評価○、【ディーゼル車(作業)】基準値2.8km/h→今年度2.6km/h 評価×、【ディーゼル車(運搬)】基準値5.0km/h→今年度6.5km/h 評価○という結果になりました。
・車両の運転における燃料効率の改善を図る	○	
・低燃費車、低公害車への切替えに取り組む	○	



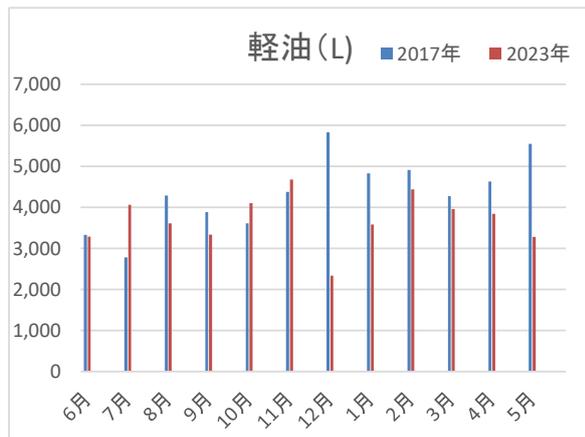
取組紹介欄

走行燃費の計測を行ってます。



(Q)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	464	454	496	377	288	418	355	327	243	480	316	277
2023年	209	140	128	213	192	99	111	144	115	92	102	137



取組紹介欄

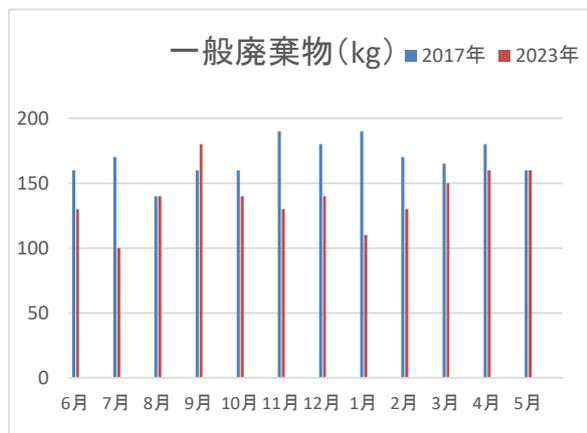
収集・運搬業及び清掃作業による稼働のため、計測対象車両を走行燃費と作業燃費に分けて計測を行ってます。



(Q)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	3,329	2,782	4,287	3,886	3,613	4,375	5,832	4,831	4,909	4,277	4,629	5,550
2023年	3,292	4,064	3,610	3,337	4,102	4,682	2,340	3,583	4,443	3,963	3,841	3,281

一般廃棄物の削減(焼却ゴミ)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	単月で3ヶ月目標値の未達がありましたが、年間を通して基準値に対し82%(目標値94%)と大きく下回ることができました。来年度も結果が出せるように注視してまいります。
・ミスプリントの防止	○	
・使用済み用紙など、裏紙の活用	○	



取組紹介欄

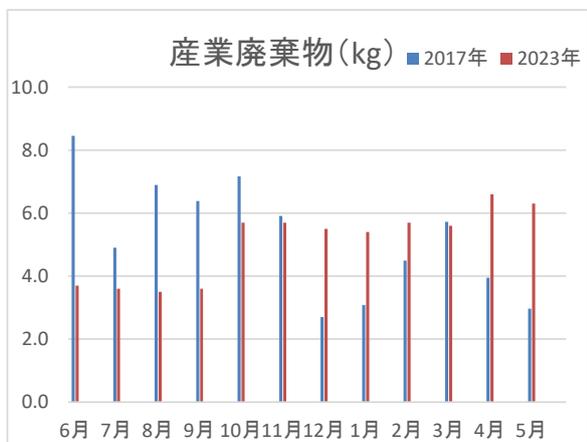
日ごとに一般ごみのごみ数を拾い出し、見える化を行っています。



(kg)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	160	170	140	160	160	190	180	190	170	165	180	160
2023年	130	100	140	180	140	130	140	110	130	150	160	160

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	下期は全般的に排出量が増え、基準年の数値を下回ることができましたが、目標数値には達成できませんでした。仕事内容により致し方のない面がありますが、啓発してまいります。
・廃棄物の分別の徹底	○	
・再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的購入	○	
・詰替え可能な製品などの長期使用を進める	○	



取組紹介欄

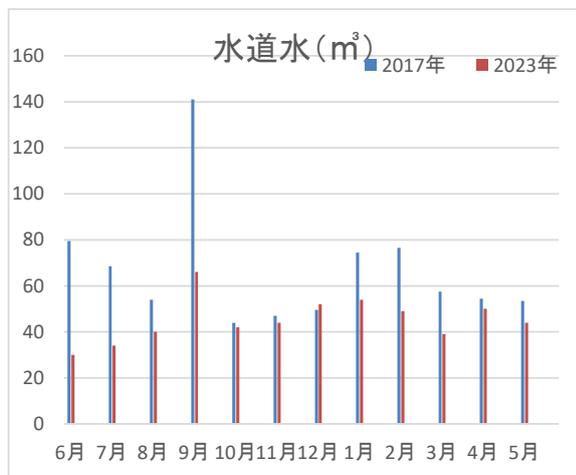
材質別に容器を準備し分別を行っています。



(kg)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	8.5	4.9	6.9	6.4	7.2	5.9	2.7	3.1	4.5	5.7	4.0	3.0
2023年	3.7	3.6	3.5	3.6	5.7	5.7	5.5	5.4	5.7	5.6	6.6	6.3

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度は、洗浄作業による自社からの給水回数が少なかったためか、目標値を大きく下回り達成できました。日常の使用分についても、節水の啓発を続けてまいります。
・ 節水呼びかけの表示	○	
・ 社用車の洗車を必要最小限に留める	○	
・ ホースに手元バルブを取り付ける	○	



取組紹介欄

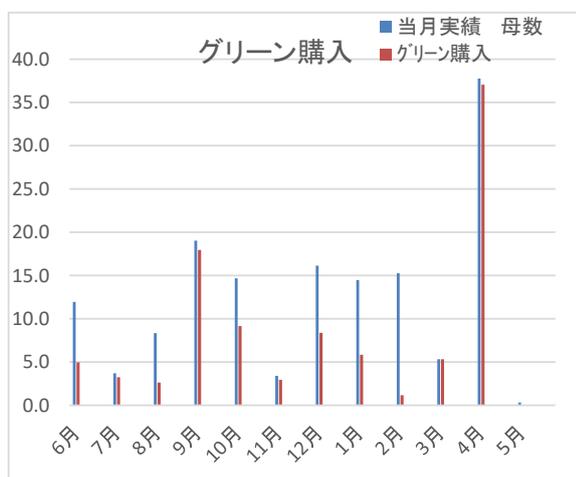
各蛇口に、節水を啓発しています。
ホースの先には、散水ノズルを付けてます。



(m³)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2017年	80	69	54	141	44	47	50	75	77	58	55	54
2023年	30	34	40	66	42	44	52	54	49	39	50	44

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	下期初めはグリーン商品として対応できない事務用品の購入額が大きかったため月次では未達となりましたが、累計において達成することができました。
・ 環境ラベル認定など製品の優先的購入	○	
・ 再生材料から作られた製品の優先的購入	○	



取組紹介欄

商品カタログを参照し、グリーン購入を推進しています。



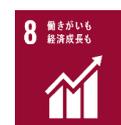
(千円)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
当月実績 母数	12.0	3.7	8.3	19.0	14.7	3.4	16.2	14.5	15.3	5.3	37.8	0.3
グリーン購入	5.0	3.3	2.6	17.9	9.2	3.0	8.4	5.8	1.2	5.3	37.1	0.3

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業開始前の車両点検	○	今年度、5月に社内での物損事故が1件ありました。バック時不注意により工場へ壁面に追突。運転手へ厳重注意。
・エコドライブの推進（デジタコによる監視）	○	
・車両の清掃	○	
・顧客企業に対する再資源化の情報提供	○	
・事故ゼロ	×	



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事業拡大のための人材確保	○	ホームページ開設については、見積り依頼、事業支援などあらゆる面で反響があります。
・技術の継承	○	
・PRによる顧客獲得 問合せ（業務依頼）	○	



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	処理業者の許可・委託契約書の確認、産廃管理票の管理と実績報告
フロン排出抑制法	業務用空調機（2台）、エアドライヤー
自動車NOx・PM法	作業車両
消防法（危険物）	少量危険物の保管
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限、アルコールチェック
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先

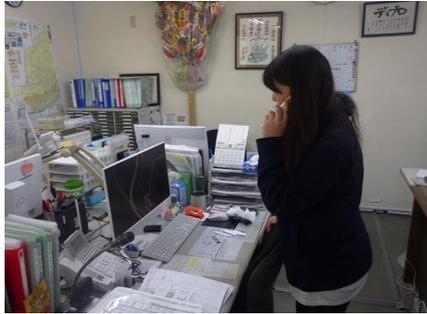
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等もありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月16日	■実施場所： 事務所1階
■参加者： 事務員（3名）	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 事務所内のコンセントより出火を想定。消火器で初期消火を行い消防署へ通報の訓練を手順書にしたがい行った結果、問題なく訓練を終えました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況の様子




緊急事態の想定： 油流出事故の発生(工場)	
■実施日： 2023年10月16日	■実施場所： 工場
■参加者： 作業員（2名）	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： ろ過処理装置の配管接続部からの漏洩を発見し、漏洩拡大防止のために回収処理が出来るように訓練を行った。訓練において、ウエス・オイルマットの場所・使用方法も適切に判断ができ、早期対応が出来ました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況の様子




緊急事態の想定： 油流出事故の発生(車両)	
■実施日： 2023年10月16日	■実施場所： 事務所側駐車場
■参加者： 作業員（2名）	■実施内容： ・流出事故対応
■評価： エンジンオイル抜き取り中に容器から漏れ出し、ウエス・オイルマットにて吸取りを行い流出を防ぐ訓練を行った。訓練は手際よく行えました。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし

■実施状況の様子




□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月31日

【前回の指示への取組結果】	
<情報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 新車両との入れ替えにより、燃費の向上NOxの減少に取り組んでまいります。	◇環境方針 無 環境方針の変更はありません
◇環境経営目標・計画の達成状況 産業廃棄物の削減項目の未達という結果になりました。	◇環境経営目標・環境経営計画 無 環境経営目標・環境経営計画の変更はありません。
◇その他 外部利害関係等の苦情、要請等の問題はありませんでした。	◇実施体制他 実施体制、コミュニケーション、遵法、PDCAの方法等についての変更はありません。
今年度の環境経営計画につきまして、産業廃棄物の削減に対する計画のみが未達という結果になり、その他の項目については達成という結果が得られました。いつも仕事量に応じて左右される自動車燃料による二酸化炭素排出量ですが、今年度は最終的に目標が達成できました。また、ホームページ開設後反響があり、さまざまな問い合わせ等を頂いております。	

□これまでの環境活動の紹介

株式会社ディプロは、これまで蓄積した経験を基にして各種工場・プラント、飛行機、船舶及び鉄道車両、飲食店等の配管洗浄（薬品洗浄・高圧洗浄・吸引車による抜き取り）などを行い、お客様から高評価を頂いております。他にも弊社独自の再生プラントの設備投資により再生技術を施し新しい油剤として再生を行い、再使用して頂く大変有効で無駄のない方法であると思っております。

環境活動の一環としては、事務所蛍光灯をLED化、燃費と安定性向上のためにデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを各車両に装着し、営業車にハイブリッド車の導入を行い、二酸化炭素の排出削減に努めています。清掃活動においては、本社周辺、前面道路、側溝も含め全従業員で実施し、周辺地域の美化に貢献しております。

詳しくは弊社まで問い合わせください。



□編集後記